



# TSUBOTAJUKU

「塾生の人生を応援する」  
そんなコンセプトで贈る塾通信

★今月のトピックス★

## 「とある生徒とメンタルの話」

皆さんこんにちは！星ヶ丘講師の桑田です。

寝苦しい夜が続きますが  
夏バテなどしていませんか？



さて、今回のトピックスは

## 「とある生徒とメンタルの話」

ぜひ、ご一読ください！

### ● 8月の坪田塾カレンダー ●

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	9/1	9/2	9/3	9/4



坪田塾  
TSUBOTA JUKU

## 「とある生徒とメンタルの話」

先日、ある生徒の指導中、生徒がボロボロと泣き出していました。

「夏の計画がどんどん遅れていて、どうしたらいいかわからない」と。

僕はその子の担当ではないのですが、

担当の先生といつも進捗の話をしてきた分、言いにくかったんだろうと思います。

「昨日より少しでもいいところを探すとか」

「できるように工夫する姿勢を」とか、通り一辺倒の返しをしたところ

(正論ってやつですよ。こういう対話の時に一番やっちゃいけないやつ)

「そんなのはもうやってる！やってるけど！！」と言われてしまいました。

「う〜ん」と困ってしまった後に、自分の受験期の話をしました。

実は理系のくせに数Ⅲの勉強が間に合わず、

それでもなんとか**工夫して第一志望に受かった**こと。

それは能力ではなくて、**やり方が良かった**んだと思っているということも。

だから、「ここから一緒に考えていこうよ。できる方法を。」という話をすると、

今度は嬉し泣きだったのか(だといいんですけど)、余計に涙は増えてしまいました。

帰りには、少し笑顔になって帰って行きました。

「どうしたらいいと思う？」

「きっと大丈夫だよ。」

そんな声かけをしてくれる人が、生徒の身近にいるのでしょうか？

僕にはいました。

僕の母は、いつも**「あなたなら大丈夫」**と言ってくれました。

どんなに結果が悪くても、怠けてしまう1日があっても。

「いい加減にきなさい」とか、「そんなんで受かるとってんの!？」とか。

言われたことはありませんでした。

逆に言われないうことで

「ああ、自分でなんとかしなければ」と思ったものでした。  
担任の先生も、「**君はいけると思う**」と言ってくれました。  
それがどれだけ励みになったか、今になったらよくわかります。  
「恵まれていた」と、今でもよく思います。

毎年、冬の時期には同じやり取りをしている自分がいます。

**「自分の能力を信じて、大丈夫だから。」**と。

そうやって応援されてきた回数が、  
最終的な**結果に大きく関係する**ことは確かで、  
かつ、私たち講師にできることが  
微力でしかないということも確かだと感じています。  
毎日顔を合わせて、これまで一緒に生きてきている親の一言は、  
私たちの声かけの**何百倍の影響があります**。  
だからこそ、私たちは親御さんも交えて、  
その子にどのように接していったらいいのかということ  
を考えていきたいと思っています。  
そのために、今回こういった話をここに書いた次第です。

夏は**計画と進捗との戦い**。

冬は**メンタルとの戦い**だと思っています。

そして、受験は**第一にメンタル、第2に学力**の勝負だと思っています。

まだまだ夏は続きますが、計画通り進んでいる子、そうでない子、それぞれいます。  
私たちには何ができるでしょうか。

今回の一件で、僕自身、  
一人一人ともっと密にコミュニケーションを取っていかねければ、  
と反省した次第でした。

保護者の皆様にもご協力を頂きつつ、一人一人の力になればと思っています。  
今後ともよろしく願いいたします。